

大雪に対する農作物等の技術対策

福島県農林水産部農業振興課

福島地方気象台は、令和3年1月27日16時15分に「大雪に関する福島県気象情報第1号」を発表しました。今後とも気象情報に留意してください。

大雪に関する福島県気象情報 第1号

令和3年1月27日16時15分 福島地方気象台発表

(見出し)

会津では、発達する低気圧と強い冬型の気圧配置の影響により、29日から30日にかけて大雪となる見込みです。大雪による交通障害、建物や農業施設への被害に注意・警戒してください。

(本文)

【気象状況】

29日は、低気圧が急速に発達しながら日本海を北東へ進む見込みです。その後、30日にかけて東北地方の上空約5000メートルには、氷点下36度以下の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まるでしょう。

【予想と防災事項】

<雪の予想>

会津では、大雪となる見込み。上空の寒気が予想よりも強まった場合は、警報級の大雪となる可能性がある。

28日18時から29日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

会津山沿い	30から50センチ
会津平地	20から40センチ
中通り山沿い	10から20センチ
中通り平地	5から10センチ

その後、29日18時から30日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

会津山沿い	40から60センチ
会津平地	20から40センチ
中通り山沿い	20から40センチ
中通り平地	5から10センチ

<防災事項>

会津では、29日から30日にかけて警報級の大雪となる可能性があります。大雪による交通障害、建物や農業施設への被害に注意・警戒してください。また、ふぶきや吹きだまりによる交通障害、なだれや屋根からの落雪、電線や樹木への着雪に注意してください。

【補足事項】

今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

次の「大雪に関する福島県気象情報」は、28日6時頃に発表する予定です。

ハウスの管理は、安全を確保した上で、以下の対策に留意し被害防止に努めてください。

【事前対策】

○使用中のハウスは、中柱やタイバー等による補強、暖房機の点検や燃料の残量確認を行ってください。

【降雪時の対策】

○暖房機が設置されている場合は、内部のカーテンを開放した上で、可能な範囲で室温を高めて屋根の雪を滑落させてください。

○短時間に多量の降雪があり、ハウスの雪下ろしが間に合わない場合は、被覆資材を切ってハウスの倒壊を回避してください。

【暖房機使用時の注意点】

○不完全燃焼による一酸化炭素の発生を防ぐため、暖房機の吸気口の周辺に資材等を放置しないように注意しましょう。また、積雪時には排気口が閉塞しないように確認しましょう。

なお、県農業振興課のホームページに、「大雪に関する農作物等の技術対策、農業用施設等の雪害防止技術対策(令和2年12月14日)」を掲載していますので、活用願います。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください)

URL:<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>